

市民連合



にしちもと
西本 章
あきら



平和をめぐる諸情勢は

問 ロシアのウクライナ侵攻から2年が経過したが、ますます泥沼化している。また、パレスチナ・ガザ地区でも、多くの一般市民の犠牲者が出ており、その惨状が伝えられている。

ウクライナとパレスチナ・ガザ地区での戦闘行為の即時停戦を強く求めるが、市長の考えは。

答 罪もない人々の命と財産を奪う行為であり、決して許されるものではない。1日も早く事態が収束し、平和的解決が図られることを願っている。

恒久平和の実現は人類全ての共通の願いである。

今後とも、平和非核都市福山宣言の趣旨を踏まえ、平和な社会の実現に向け積極的に諸施策の推進に取り組んでいく。

子育て世代への支援策は

問 人口流出に歯止めをかける施策の一つでもある福山ネウボラによる支援策は、今年度の予算にも色濃く反映している。今後の支援策について、市長の考えは。

答 市民アンケートの声を受け、経済的負担の軽減や保育サービスマス、仕事と子育ての両立に向けた支援などが何よりも重要と考える。このため、福山ネウボラのさらなる強化に向け、今年度は第2子以降

の保育料無償化、不妊治療費助成の拡充などの3つの負担軽減に先行的に取り組む。子ども・子育て支援策の全体像については、福山ネウボラ第2ステージの指針となる「こども計画」の中で示す。この計画には、3月に立ち上げる子ども未来づくり100人委員会の意見もしっかりと反映していく。

引き続き、社会全体で子ども

子育て世代を支える「こどもまんなか」

の実現に取り組む。



新政クラブ



やすぎ
八杉 光乗
みつのり



学校体育館の環境整備は

問 学校施設は子どもたちの学習や生活の場であるとともに災害時には地域住民の避難所などとしての機能も果たすことから、安全性の確保と防災機能の強化が求められているが。

答 学校施設長寿命化計画に基づき施設整備を進めていく。今年度は小学校4校の体育館の長寿命化改修に取り組む考えである。屋上防水など、耐久性に優れた素材による改修工事のほか、水道設備などライフラインの更新等に加え、複層ガラス等の高断熱化などの整備を行い、ZEB化を推進する。

さらに、避難所としての防災機能を強化するため、バリアフリートイレの整備や、停電などに備えスポットクーラー等も利用できるよう、体育館に発電機などを接続する発電機接続設備を整備する。

実験を行ってきた。今年度は実装に向けた協議会を立ち上げ、ドライバーの監視の下でシステムが運転するレベル2に対応する実験を行うこととしている。この実験では、車両と信号等を協調させるシステムや遠隔監視システムにおける通信環境などの課題を洗い出し2027年度までにレベル4の実装をめざす。新たなモビリティサービスの創出により、市内の主要拠点や商業施設等へ誰もが便利に移動できるまちづくりにつなげる。

自動運転移動サービスは

問 改正道路交通法により特定の条件で車の全ての操作をシステムが担うレベル4の公道走行が解禁され、各地で自動運転の実証実験が本格化している。今年度、福山駅前とエフピコアリーナふくやまの間で実証事業を本格化することとしているがその内容や事業の進め方は。また、本市が考える将来構想は。

答 これまで将来の移動手段の確保を目的に中心市街地や郊外で



※ZEB: Net Zero Energy Building (ネット ゼロ エネルギー ビル) の略称で、「ゼブ」と呼ぶ。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることをめざした建物。省エネによって使うエネルギーを減らし、創エネによって使う分のエネルギーをつくることでエネルギー消費量を正味でゼロにすることができる。